

1.
2.
3.
4.
5.

日あこふひ
はめのると
かに世きは
たわのささ
むれかがび
きらたをし
てをるばく
夜呼ここ世
はびえばの
ちたをみた
かまこゆび
づいばかじ

くしみばを
あきたなう
まみえがつ
つはずある
くまこやな
にこのまこ
へと世ちこ
のにををろ
たみはのい
びちながだ
じたれれき

いまゆうあ
そえかるゆ
がばばんむ
とそなおく
くのがのる
そみのがし
なこぞいみ
ええみのを
よにはちば
とまいう耐
きたよしえ
はくよなし
すし増うの
ぎたすもば

ゆがらのす
くいんはる
こいたまか
こよだこす
ろよみとか
をみくのな
つかにいへ
よみへのい
めにのちわ
いたみみた
さよちいよ
みりをだり
はまはすと
げつげをし
めれめえて

私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それをちりあくと
 思っています。それは、私には、キリストを得、また、キリストの中
 にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信
 じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義

6

われらここにて ^{まれびと}客なり
^{あま}天つわが家に ^やまもなく ^さ去らん。
 さらば身をば ^{ひく}低め心を
 いとうるわしく ^{かざ}飾りてあらん。

7

おろかな遊び ^{あそ}道にありて
^{みい}見入ることなく ^{のが}とく逃れよ
 つかの間の ^まみ ^よこころ寄せなば
 罪の深みへ ^{ふか} ^{おちい}陥らされん。

8

道はさびしく ^ま曲がりくねり
 いばらに ^み満ちて ^{あや}げに危うし。
 されどわれら 一つの道を
 主に ^{みちび}導かれ ^{すす}なおも進まん。

9

われらここにて ^{みき}見聞きすもの
^{ふたた}再びそこに ^{かえ}帰るを得ず
^{かた}語る言葉 ^{ことば} ^{こころ}ふるまい心
 み神の前に ^{まえ}たえせずあらん。

10

^{こひつじ}主イエスのごとく ^{きよ}心清き
^{にゆうわ} ^{さが}柔和な性に ^えわれらもまた
^か変えられゆかん 人はわれらの
^{ぎようじよう}行状により ^え主を見るらん。

11

われらこの世に ^{きりゆうしや}寄留者なり
 人に知られず ^{あなど}侮らるる。
^{あま}天つ御国 ^{みに}慕いあこがる
^{よびと} ^き

12

神の子供ら ^{すす}いざや進まん！
 御父は共に ^{とも} ^{あゆ}歩みたまい
 あわれみ満つ そのまなざしを
 やさしく向けて ^む ^{はげ}励ましたもう。

13

来たれや子らよ いざわれらは
^て ^と ^{たび} ^{つづ}手に手を取りて 旅を続けん。
^あ ^の ^{たが} ^{さち}荒れ野にても 互いの幸を
 神の子らしく ^あよろこび合はん

14

^{よわ} ^{もの} ^{たお}弱き者らが 倒れたるや？
^{たす} ^て ^の助けの手をば とくさし伸べん。
^{ちい}いと小さき ものにあらまし！
^{きよ}いとも清けき ものならまし！

15

命の終わり ^ひ ^{びちか}日々近づく。
^{いさ} ^{ちい}勇む心は 小さくとも
^{ちゆうじつ} ^{まも}その忠実 守る心に
^{ひといき} ^そ ^{ささ}さらに一息 添えて捧げん。

16

^う受くることより ^{あた}与うことは
^{さいわ} ^{かた}幸いなりと 語りましし→
^{したが}主にひたすら 従いまつり
^{とわ}永久の命に ^えみちびかれん。

17

^{また} ^{たから}われらの全き 宝なる主
^{とこしえ} ^{とも} ^{だい} ^{かんき}永久の友 大歓喜よ
 なれにありて われらときわに
^{なぐさ} ^{よろこ}